

◎これまでの施策の問題点 (平成26年9月19日、まち・ひと・しごと創生会議、増田寛也委員提出資料)

1. 「タテ」=府省庁別の「縦割り」の問題
2. 「ヨコ」=一律横並びの問題
3. 「セン(浅)」=施策が地域に浸透していない
4. 「タン」=短期的な思考

◎「人口減少時代」の新たな行政革新

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定—「地方版人口ビジョン」「地域経済分析システム」
- ・行政と地域住民の意識共有

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」：人口減少の歯止めのための戦略（人口流出防止、出生率向上※）
- ・「調整戦略」：人口減少に即した戦略（効果的・効率的な行政・まちづくり）

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層（女性や若者、外部人材も）の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標（成果目標）」設定。その後、毎年効果検証を行い、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成、「圏域形成」へ
- ・個別事業（広域観光、都市農村交流など）での市町村連携